

マイナンバーカードの対面利活用実証実験(ゴルフ場) 共同発表

出席者

株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン	代表取締役社長 石坂 信也 (いしざか・のぶや)
デジタル庁	デジタル大臣 河野 太郎 (こうの・たろう)
	デジタル大臣政務官 土田 慎 (つちだ・しん)

共同発表次第

※概ね20分で終了予定

内容	登壇者
大臣より発言	河野大臣
実証実験の概要説明	土田政務官
関係社より発言	石坂社長
質疑応答	石坂社長 河野大臣、土田政務官、
写真撮影	河野大臣、土田政務官、石坂社長

実証実験の概要

実験背景

- 現在、多くのゴルフ場では、利用者は受付時に対面で住所、氏名等を手書きで用紙に記入している。
- ゴルフ場側は、受付時に手書きで記入された用紙をもとにチェックイン手続きを行っている。また、その際記入された情報をもとにゴルフ場利用税の課税対象者かどうかの判断を行っている。※ゴルフ場利用税：18歳未満、70歳以上は非課税
- ゴルフ場利用者は、遠隔地からの来訪者もあり、ゴルフ場の利用から地域の周遊につなげられることができれば、各地域の観光促進が見込める。

検証内容

- ・ 全国4箇所のゴルフ場（茅ヶ崎ゴルフリンクス等）にて 2024年9月下旬～2025年1月までの約4ヶ月間実証実験を行う。

① 記入レス・マイナ顔パス入場

受付時にマイナンバーカードをかざし、顔認証することで記入レスチェックインを行い、利用者の利便性向上を検証する。



② ゴルフ場運営業務効率化

マイナンバーカードによるチェックインを実施することで、ゴルフ場の受付事務を効率化すると共にゴルフ場利用税の対象者かどうかの正確かつ迅速な判断に資するかを検証する。



③ ゴルフ場周辺地域の観光促進

ゴルフ場来場者にマイナンバーカードの住所情報をもとにした名産品の割引販売、地域の各種案内を実施し、ゴルフ場周辺地域の観光促進への効果を検証する。



実証実験の概要

■利用者体験フロー例



※今回の実証実験に個人情報の登録を希望されない利用者は、一部手書き入力が必要です。（カナ・携帯番号）

■期待される効果

幅広い年齢層に親しまれているゴルフにおける、マイナンバーカードの対面での利活用の実証実験を行うことで、民間ビジネスにおける**マイナンバーカードの対面利活用の機会の創出**を狙う。

※全国2,200超のゴルフ場にて年間約9,100万人プレー 参照「一般社団法人 日本ゴルフ場経営者協会」